

部屋の片付けをしながら、なかなかできていなかった写真のアルバム整理をしていたら、アルバムに入れていない写真がどっさり出てきて、ヒィヒィ!! となったのですが。8年前位のまだ小さくてほっぺはプニョッとして髪はくりんくりんの長男の写真が出てきて、わああと感動と懐かしさで胸一杯になりました。幼稚園での様子が色々記録されたものでしたが、一生懸命踊っている姿、おゆうぎしている姿、クリスマスの劇で博士を演じる姿…もう随分前のようにも感じるけれど、その時の姿をとてもくっきりと、ついこの前のように思い出すのも、何だか不思議です。それと同時に、自分の幼少期のこと、小学校の風景、中学校での時間もはっきり覚えていて、時の流れや自分が親になっていることも妙な気分になったり



時空が歪むような感覚になります。成長すること、命がつながっていくこと、あの頃の私の歳に子どもが重なること…ついつい思いにふけてしまいます。子育てをしていると、そんな感覚に陥ること、ありませんかね。そんなプニョッとしてた長男も今や中学生。今は合唱コンクールに向けて毎日がんばっているようです。私も中学の頃合唱コンクールで歌った歌やホールの光景を思い出します。でも私は中学時代そんなに楽しい思い出がありません(笑)。長男はわりとイキイキ学校生活を楽んでいるようで良かったなあと思います。そして大きくなってくると写真を撮ることも減ってくるな…と気付くのです。今やフィルムもなく、データがたまってくばかりですが、やはり「写真」として手元にある、時々眺めるのは楽しいものです。

まきばでひとやすみ

